

平成 26 年 5 月 20 日

特定非営利活動法人物理オリンピック日本委員会
プレスリリース

特定非営利活動法人 物理オリンピック日本委員会
理事長 北原和夫

第45回国際物理オリンピック (IPhO2014) カザフスタン大会 日本代表選手決定について

特定非営利活動法人物理オリンピック日本委員会は、第 45 回国際物理オリンピック (期間：2014 年 7 月 13 日～21 日 開催国/都市：カザフスタン共和国/アスタナ) に派遣する日本代表選手 5 名を決定した。

国際物理オリンピックは、1967 年にポーランドのワルシャワで第 1 回大会が開催された物理の国際的なコンテストで、全世界 80 前後の国・地域から高等教育機関就学前の若者が参加し、物理学に対する興味関心と能力を高め合うとともに、国際的な交流を通じて参加国における物理教育が一層発展することを目的として、毎年開催されている。

わが国は 2006 年、第 37 回国際物理オリンピック IPhO2006 シンガポール大会に初めて日本代表選手 5 名を派遣し、以来毎年参加し、メダルを獲得している。2013 年の第 44 回国際物理オリンピック IPhO2013 デンマーク大会での成績は、銀メダル 2、銅メダル 3 であった。

今回日本代表となった 5 名は、昨年夏に茨城県で行なわれた第 9 回全国物理コンテスト・物理チャレンジ 2013 (応募者 1460 名) において優秀な成績を収めたことにより日本代表候補者として選抜され、昨秋からのインターネットを利用した「理論問題・実験データ解析演習の通信添削」、冬休みに行われた「実験実習を主体とした合宿研修」、さらに春休みに行われた「最終選考合宿」を経て決定された。

代表者 5 名は、引き続き国際大会参加に向けたトレーニングに参加し、今年 7 月開催の第 45 回国際物理オリンピック (IPhO2014) カザフスタン大会」に備えている。

なお、2015 年に開催される第 46 回国際物理オリンピック・インド大会の日本代表選考を兼ねる国内コンテストとして、本年 8 月 19 日～20 日、第 10 回全国物理コンテスト・物理チャレンジ 2014 が岡山県で開催される。詳しくは、ホームページ参照。

第 45 回国際物理オリンピック (IPhO2014) 日本代表選手

| 氏名 | フリガナ | 性別 | 学校名 (所在地) | 学年 |
|-------|-----------|----|-------------------|-----|
| 親川 晃一 | オヤカワ コウイチ | 男 | 大阪星光学院高等学校 (大阪府) | 3 年 |
| 杉浦 康仁 | スギウラ ヤスヒト | 男 | 開成高等学校 (東京都) | 3 年 |
| 濱田 一樹 | ハマダ カズキ | 男 | 灘高等学校 (兵庫県) | 2 年 |
| 林 達也 | ハヤシ タツヤ | 男 | 岐阜県立岐阜北高等学校 (岐阜県) | 3 年 |
| 丸山 義輝 | マルヤマ ヨシキ | 男 | 宮崎県立宮崎西高等学校 (宮崎県) | 3 年 |

※ 以上 5 名 氏名 50 音順

<この件についての問い合わせ先>

特定非営利活動法人 物理オリンピック日本委員会
事務局 菊池 祥子
東京都新宿区神楽坂 1-3 東京理科大学内
TEL 03-5228-7406 FAX 03-3268-2345
info@jpho.jp http://www.jpho.jp

日本代表のコメント

親川晃一：

このような機会に恵まれて本当にうれしく思います。大会では代表として全力を尽くしたいと思います。また、国際交流を通して物理を存分に楽しみ、さらに物理に対する理解を深めることができればいいなと思います。

杉浦康仁：

日本代表として IPhO カザフスタン大会に参加できることを大変光栄に思っております。しっかりと準備を重ね、高校生活の最高の思い出となるよう頑張りたいと思います。各国の代表選手との交流を通して、物理学はもちろん、それ以外の見識も広げられることを楽しみにしています。

濱田一樹：

国際物理オリンピック。存在を知ったのは中学 2 年の時でしたが、まさか自分が代表になるとは夢にも思わなかった。委員会の方々に支えられて到達した世界という舞台。まだまだ未熟者の僕ですが最善を尽くし、世界に日本をアピールしたい。

林達也：

この度は、日本代表に選ばれて光栄に思っています。代表としての責務を果たすため全力で励むとともに、このような貴重な機会を存分に生かし、よりいっそう物理の世界にどっぷりとつかかりたいと思っています。

丸山義輝：

代表に選ばれて光栄に思っています。これまでの研修、かなりの経験になりましたから、世界中から集まる IPhO では更に貴重な経験ができるだろうと楽しみにしています。良い結果を出せるよう頭の改良に励みます。

「国際物理オリンピック」について

国際物理オリンピックは、1967 年にポーランドのワルシャワで第 1 回大会が開催された物理の国際的なコンテストです。各国から高等教育機関就学前の若者が参加し、物理学に対する興味関心と能力を互いに高め合うとともに、参加国における物理教育が国際的な交流を通じて一層発展することを目的としています。科学・技術のあらゆる分野において、増大する物理学の重要性、次代を担う青少年の一般的教養としての物理学の有用性に鑑み、開催国を持ちまわりとして毎年開催されています。国際大会の参加資格は、20 歳未満で大学・短期大学などの高等教育を受けていない生徒たちです。

各国内で選抜された最大 5 名の代表選手たちが、大学・高校教員からなる大会日本役員（リーダー、オブザーバ）とともに参加します。約 10 日間という長い会期のあいだ、選手は理論問題と実験問題にそれぞれ 5 時間をかけて挑戦するほか、開催国の文化に根ざした様々なイベントに参加することを通じて、他国からの参加者や主催者と国際的な交流を深めることができるように構成されています。役員たちは問題の翻訳や採点交渉などを行います。

近年の開催国／都市は、2006 年シンガポール、2007 年イラン／イスファハン、2008 年ベトナム／ハノイ、2009 年メキシコ／メリダ、2010 年クロアチア／ザグレブ、2011 年タイ／バンコク、2012 年エストニア／タリン、2013 年デンマーク／コペンハーゲンでした。また、2022 年には日本で開催されることになっています。

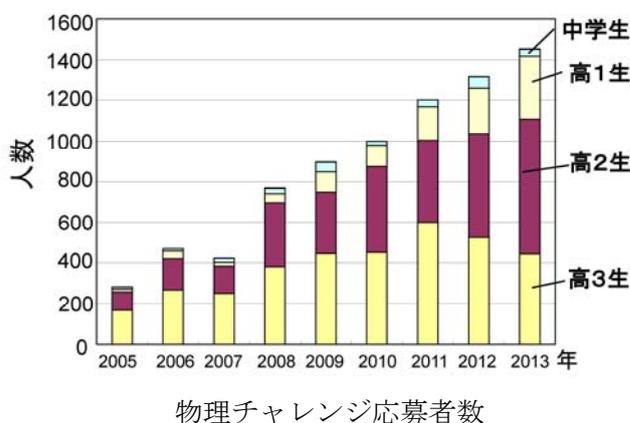
我が国は 2006 年の初参加より毎年代表を派遣し、メダルを獲得しています。これまで 8 回の参加において、金メダル受賞者 10 名、銀メダル受賞者 13 名、銅メダル受賞者 13 名、入賞者 4 名という成績を収めています。

< 今回の大会 >

- 「第 45 回国際物理オリンピック (IPhO2014)」
 会 期： 2014 年 7 月 13 日～7 月 21 日
 開催国／都市： カザフスタン共和国 / アスタナ

< 前回の大会 >

- 「第 44 回国際物理オリンピック (IPhO2013)」
 会 期： 2013 年 7 月 7 日～7 月 15 日
 開催国／都市： デンマーク王国 / コペンハーゲン
 参加国数／参加者数： 82 カ国・地域 / 374 名
 日本代表の成果： 銀メダル受賞者 2 名 銅メダル受賞者 3 名



国際物理オリンピックでの日本選手団の成績

| | | | | | |
|----------------------|---|---|---|----|----|
| 第44回 デンマーク大会(2013年) | 銀 | 銀 | 銅 | 銅 | 銅 |
| 第43回 エストニア大会(2012年) | 金 | 金 | 銀 | 銀 | 銀 |
| 第42回 タイ大会(2011年) | 金 | 金 | 金 | 銀 | 銀 |
| 第41回 クロアチア大会(2010年) | 銀 | 銅 | 銅 | 銅 | 入賞 |
| 第40回 メキシコ大会(2009年) | 金 | 金 | 銀 | 銅 | 銅 |
| 第39回 ベトナム大会(2008年) | 金 | 銀 | 銅 | 入賞 | 入賞 |
| 第38回 イラン大会(2007年) | 金 | 金 | 銀 | 銀 | 銅 |
| 第37回 シンガポール大会(2006年) | 銀 | 銅 | 銅 | 銅 | 入賞 |



IPhO での日本代表選手の成績

特定非営利活動法人物理オリンピック日本委員会について

特定非営利活動法人 物理オリンピック日本委員会は、国際物理オリンピックに派遣する日本代表選手を選抜・訓練し、国際大会に派遣することを主たる事業として、2010年11月に設立認証を申請、2011年3月に認証・設立されました。この事業は、日本物理学会、応用物理学会、日本物理教育学会、日本生物物理学会、電気学会、日本機械学会等の物理関連学会や、全国の大学、地方公共団体、研究所等の支援とともに、科学技術振興機構を通じて国の支援を得て継続しております。

事業の意義は、国際物理オリンピックに日本代表を派遣することに留まらず、その選抜の過程において我が国の高校生・中学生の間に広く物理に対する興味・関心を喚起するとともに、学校教育における物理教育の質的向上を促すことを期待し、全国各地で高校生・中学生、それに中学校および高校の先生方を対象としたプレチャレンジ等の普及啓発活動も広く行っています。